

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護学概論	NSP11_001	必修	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小石川 好美	403	yoshimi.koishikawa	月曜日—金曜日 12:10-13:00		
授業の目的・概要	看護学概論は、看護基礎教育で教授する看護学体系の最も基盤となる科目である。看護の目的・対象・方法、看護学の歴史的発展過程、看護理論や看護教育・研究、看護制度・政策の発展過程の概要を理解する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	学生自ら主体的に学習することを認識し、今後の看護学学習の基本的態度を養ってほしい。				
教科書	系統看護講座 専門分野 I 基礎看護学 I 看護学概論第 17 版/著：茂野香おる/医学書院、2020 看護覚え書(第 8 版)/訳：湯横ます/現代社/2023 看護の基本となるもの/著：V.ヘンダーソン、訳：小玉香津子/日本看護協会出版会/2016				
参考書	適宜紹介する。				
外部教材	必要時紹介する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護とは何か、ナイチンゲール・ヘンダーソンの考えに基づいて説明できる。	NS(1)～(5)			
②	看護の対象についてナイチンゲール・ヘンダーソンの考えに基づいて説明できる。	NS(1)～(5)			
③	看護の方法についてナイチンゲール・ヘンダーソンの考えに基づいて説明できる。	NS(1)～(5)			
④	看護学の歴史、看護専門職の養成制度、制度・政策、職業倫理について学習した内容を説明できる。	NS(1)～(5)			
⑤	看護を学ぶ学生としての自己の学修課題を記述できる。	NS(1)～(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	看護とは、看護の定義	講義	予習：看護職を目指す動機について記述する。 復習：学びをまとめる。	4	
2	看護の役割と機能	講義	予習：指定の資料を読む。 復習：学びをまとめる。	4	
3	看護の対象の理解	講義	予習：指定の資料を読む。 復習：学びをまとめる。	4	
4	健康と国民の健康状態	講義	予習：指定の資料を読む。 復習：学びをまとめる。	4	
5	看護職養成制度 (基礎教育・継続教育)	講義	予習：指定の資料を読む。 復習：学びをまとめる。	4	
6	看護における倫理	講義	予習：指定の資料を読む。 復習：学びをまとめる。	4	
7	看護の提供しぐさ、制度・政策	講義	予習：指定の資料を読む。 復習：学びをまとめる。	4	
8	看護管理・看護教育の実際	講義	予習：指定の資料を読む。 復習：学びをまとめる。	4	
9	ナイチンゲール看護覚え書きを読み解く①	講義	予習：入学前課題を振り返る。	4	
10	ナイチンゲール看護覚え書きを読み解く②	グループワーク	予習：入学前課題を振り返る。	4	
11	ナイチンゲール看護覚え書きを読み解く③	プレゼンテーション	予習：発表の準備をする。 復習：学びをまとめる。	4	
12	ヘンダーソン看護論を読み解く①	グループワーク	予習：指定の資料を読みまとめる。	4	

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

13	ヘンダーソン看護論を読み解く②	グループワーク	予習：グループワークの準備をする。	4			
14	ヘンダーソン看護論を読み解く③	プレゼンテーション	予習：発表の準備をする。 復習：学びをまとめる。	4			
15	看護を学ぶ学生としての自己の課題	プレゼンテーション	予習：自己の課題をまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。	4			
試	定期試験						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	30	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	20	20	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験 (筆記試験) を行い、授業中に講義した内容の理解度を評価する。筆記試験の得点が 60% に満たない学生は再度筆記試験を行う。		試験問題解答用紙を返却する。 出題意図および解答について解説する。		
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①	✓	授業時に複数回レポート課題を提示する。		内容を点検し、コメントを記して返却する。		
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①	✓	授業やグループワークへの取り組みを評価する。		授業中や Teams を用いて伝える。		
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	看護師として 40 年の臨床経験を有し、臨床実践と学問的な知識、技術を併せて教授する						
実践的授業の内容	教員の経験の紹介や映像資料を用いることで、看護場面をイメージできるように工夫する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・課題等の提出は期日を厳守すること。 ・学習の進行状況によりスケジュールを変更することがある。 今後、社会情勢によって再度シラバスの変更を行う可能性がある。 						